

ロマンとスリルあふれる 感動のステージを

宝塚歌劇



©宝塚歌劇団(イメージ)

2月9日(金)～3月19日(月) 花組公演

グランド・ロマンス『明智小五郎の事件簿—黒蜥蜴(トカゲ)』
～江戸川乱歩作「黒蜥蜴」より～
ショー『TUXEDO JAZZ (タキシードジャズ)』

原作と少し違う
ロマンティックな結末に期待を

明智と黒トカゲの関係は興味深い。代表的なとらえ方としては、黒トカゲの奥底に「男性」を見るものです。女賊の内面には、女性のなかの男性が潜んでおり、だからこそ男性である明智とは愛しても永遠に結ばれない。しかし今回の公演では、黒トカゲを「少女」ととらえました。

その気まぐれ、行動の大胆さに、むしろ処女性を感じたのです。実は少女こそ、少年と同じく残酷さを秘めています。その処女性を、明智小五郎一枚ずつ衣服をはぐように追いつめてゆく。名探偵も自分のなかに少年を見いだすかもしれません。少年と少女は愛し合うかもしれません。結末は、原作とはちょっとだけ違う、宝塚ならではのロマンティックなものになるでしょう。

脚本・演出

木村信司さんに聞く

宝塚歌劇版「黒蜥蜴」の見どころ



©宝塚歌劇団(イメージ)

プロフィール

1988年4月、宝塚歌劇団入団。オペラ「トゥーランドット」を題材にした音楽劇『鳳凰伝』で、2002年度社団法人日本演劇協会賞受賞。オペラ「アイダ」を題材にした『王家に捧ぐ歌』は高い評価を得、2003年度第58回芸術祭演劇部門優秀賞を受賞。



問い合わせ
宝塚歌劇インフォメーションセンター
☎0570(00)5100
午前10時～午後5時、水曜日
※一部の携帯電話、PHS、IP電話は使えません。
<http://kageki.hankyu.co.jp/>

宝塚らしさを堪能できるのが豪華な衣装です。「黒蜥蜴」でも、きらびやかな装飾品、輝くドレスの数々が、ゴージャスに舞台を盛り上げます。さらに、洋装から和装へ、時として優美に、時として凛々しく七変化する、変装の名手「黒蜥蜴」その鮮やかな早変わりも見ごたえたっぷり。美しくも切ない耽美的な世界観、ドラマティックで華やかな演出、夢のひとつきにうつつと浸れそうです。



ショー『TUXEDO JAZZ (タキシードジャズ)』より、春野寿美礼(右)、桜乃彩音 ©宝塚歌劇団

豪華な衣装と七変化も楽しみ

古き良き時代をテーマにした、ショー『TUXEDO JAZZ (タキシードジャズ)』。マンハッタンの薫りがあふれるダンスシーンと歌が楽しめる内容。アザルトな華やかさと、みずみずしさをちりばめた、エンターテインメント性の高い作品です。ダイナミックな躍動感のある華麗なステージを体感してみませんか。料金 S席1万円、S席17500円、A席15000円、B席13500円。

これまでに、数多くの映画や舞台上映・上演された江戸川乱歩原作の「黒蜥蜴」。今回は、気鋭の演出家、木村信司さんが脚本・演出を手がけ、グランド・ロマンス「明智小五郎の事件簿—黒蜥蜴(トカゲ)」～江戸川乱歩作「黒蜥蜴」より～として、新たな宝塚版「黒蜥蜴」の世界が繰り広げられます。

今回の公演では、花組のトップ春野寿美礼が、愛い

名探偵と謎めいた女性の頭脳戦と恋

宝塚歌劇では、2月9日(金)～3月19日(月)、グランド・ロマンス「明智小五郎の事件簿—黒蜥蜴(トカゲ)」～江戸川乱歩作「黒蜥蜴」より～、ショー「TUXEDO JAZZ (タキシードジャズ)」として、花組公演を開催します。息を飲むスリルと夢があふれるステージを堪能してみませんか。

いつの時代も人を魅了してやまない 「黒蜥蜴」作品紹介

【原作】

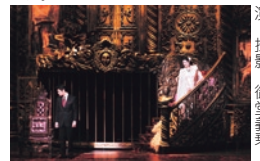
江戸川乱歩原作「黒蜥蜴」は、乱歩が40歳である、1934(昭和9)年に発表された作品。現在販売中の光文社文庫版全集の第9巻には、『黒い虹』『黒蜥蜴』『人間豹』『石榴』の4編が収録。スリリングなトリックや恐怖シーン、摩訶不思議で謎めいた世界に、今も、読者から根強い支持を得ています。



光文社文庫 980円

【舞台】

一方、美輪明宏主演の舞台「黒蜥蜴」は、1968年、三島由紀夫が脚色したもの。その妖艶な演技が高い評価を得、1993年からは、美輪明宏演出で5回にわたり上演されています。三島との交友も深かった美輪明宏が、三島戯曲の持つ日本語の美しさを余すところなく表現。壮大な恋愛物語として人気を博しています。



2005年桃井パルコ製作/ルシアパル銀座公演 撮影 御堂義典